



# PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

## 東日本決勝大会 1日目 結果 (茨城)

### 結果のお知らせ

#### <PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 東日本決勝 1日目>

- ◇2016年4月23日(土) 天候:曇り
- ◇茨城・美浦GC (15-17歳の部男子 6990ヤードほかカテゴリー別)
- ◇出場 165人

#### <PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 東日本決勝 1日目 概況>

15-17歳の部男子は、植木祥多(埼玉・埼玉栄高2年)が3アンダー69の好スコアで回り、トップに立った。5~7メートルを決める4バーディー(1ボギー)とパットが好調だった。3打差2位で五十嵐瑠亜、4打差3位で大澤 優の新潟・開志国際高2年の2人が追う展開。同女子は星野杏奈(東京・堀越高3年)と土田三栞(埼玉・岩槻北陵高3年)が1オーバー73で首位に並び、2打差3位で高橋 清(東京・日体荏原高2年)と山田彩歩(北海道・札幌光星高3年)が続くなど4打差以内に8人がひしめく混戦になった。13-14歳の部男子は昨年の世界ジュニア同部門代表の栗原悠宇(埼玉・藤中3年)がイーブンパー72をマークして首位に立ち、世界ジュニア9-10歳の部で代表経験のある小林大河(東京・東金町中1年)が2打差2位で続き、3打差3位に佐藤翔太(埼玉・土合中3年) 藤澤 諒(山梨・甲府南中2年) 川畑京太郎(千葉・翔凜中2年)がつけている。同女子では郡山 瞳(宮城・寺岡中3年)と西郷真央(千葉・麗澤中3年)が4オーバー76で1位に並び、2打差3位で佐久間朱莉(埼玉・名細中2年)が追っている。

大会は2日間36ホールの合計ストロークで争い、15-17歳、13-14歳の部男女は各2人、11-12歳の部以下の男女各3部門は各1人が日本代表に選抜され、世界ジュニアゴルフ選手権(7月12~15日、米サンディエゴ)に出場する。

#### <PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 東日本決勝 1日目 ハイライト1>

##### ◇15-17歳の部男子◇第1日◇4月23日◇茨城・美浦GC(6990ヤード、パー72)

植木祥多(埼玉・埼玉栄高2年)がただ1人アンダーパーの3アンダー69をマークして、首位に立った。「ショットが良くなかったけど、アプローチが手前からやれたのでパーを拾えた」と前半は8番で5メートルを決めるバーディー1つで1アンダー。後半は11番7メートル、12番5メートルの連続バーディー。14番ではアプローチミスで初ボギーにしたが、15番パー3でも5メートルを沈めた。「パターが入ったので、ショットが多少良くなっても気楽にいたのがよかったと思います」と、笑顔を見せた。「ずっと前から米国でゴルフをやってみたかった。海外の選手がどういうゴルフをするか見てみたいので、代表になりたい」と力を込める。最終日に向け「弱気にならないように、攻めて行けたら」と意欲を見せていた。

#### <PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 東日本決勝 1日目 ハイライト2>

##### ◇15-17歳の部女子◇第1日◇4月23日◇茨城・美浦GC(6330ヤード、パー72)

星野杏奈(東京・堀越高3年)と土田三栞(埼玉・岩槻北陵高3年)が1オーバー73で首位に並んだ。星野はインスタートの11番で「チョロして3パットのダボを打ちました」と、いきなりつまずいた。それでも、直後の12番で2メートルを入れて落ち着き、17番では「3パットしなきゃいいと思って打って、たまたま入っただけです」という下り6メートルを沈める2バーディーでスコアを戻した。東北予選では曲がっていたドライバーだったが「シャフトを元々使っていたのに戻したらよくなった」という。首位に並んだ土田は「後半(アウト)にもったいないボギーを打ったので微妙。でも、ぜいたく言っちゃいけないですね」と3バ

ーディー、4ボギーのゴルフに一応合格点。5番では「13、14メートルあった」というロングパットのバーディーも奪った。「世界ジュニアの代表になって、親や学校にいい報告をしたい」と、2打差で2人が続くなど4打差以内に8人がいる大混戦の最終日を見据えた。

### <PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 東日本決勝 1日目 ハイライト3>

#### ◇13-14歳の部女子◇第1日◇4月23日◇茨城・美浦GC(6330ヤード、パー72)

同じ組で回った郡山 瞳(宮城・寺岡中3年)と西郷真央(千葉・麗澤中3年)が4オーバー76で首位に並んだ。郡山は「前半4ボギーで耐えるゴルフだったけど、後半はドライバーが安定した。(折り返しの休憩で)ご飯を食べたからエネルギーが入った」と笑った。東日本決勝大会に備えて「東北予選に通ってから毎日腹筋270回やってきた」という。西郷は「ここで優勝を狙っている」と意気込みを見せ「きょうは5番でバンカーからホームランしてダボ、10番でアプローチミスから3パットしてダボ。この2つがあったからあまりよくなかった」と振り返る。それでも4バーディーと崩れなかったのは「ショットが悪くないから」という。2人とも最終日に向けては「周りを気にしないでやりたい」と、同じコメントを口にした。



写真： 上左／植木祥多(15-17歳の部男子)、上中／土田三栞(15-17歳の部女子)、  
上右／星野杏奈(15-17歳の部女子)、下左／郡山 瞳(13-14歳の部女子)、  
下右／西郷真央(13-14歳の部女子)  
写真クレジット：© I J G A 2 0 1 6